

授業概要

本講義は、法人税法の基本的な知識を修得するとともに、法人税法と会計学との関係を明らかにし、さらに、法人の企業活動と法人税との関係について考えることができる能力を身につけることを目的とする。講義の中では、必要に応じ、実務で問題となっている事項を取り上げたり、その時々で話題となっている事項にも触れたりすることとする。

授業計画

第1回	税務会計論とは
第2回	法人税の意義等
第3回	法人税の納税義務者
第4回	法人税の課税所得
第5回	法人税と企業会計の関係等
第6回	法人税の課税標準その1ー益金の額に算入すべき金額（原則）
第7回	法人税の課税標準その2ー益金の額に算入すべき金額（無償取引等）
第8回	法人税の課税標準その3ー損金の額に算入すべき金額（原価）
第9回	法人税の課税標準その4ー損金の額に算入すべき金額（費用）
第10回	法人税の課税標準その5ー損金の額に算入すべき金額（損失等）
第11回	申告納税制度と法人税
第12回	同族会社
第13回	法人税の課税所得の計算
第14回	法人税額の計算
第15回	総まとめ
第16回	期末試験

到達目標

1. リーガルマインドを醸成する。
2. 法人税法の基礎を身につけるとともに、法人税と企業の経済活動との関りを理解する。
3. 企業会計と法人税法の関係を理解する。

履修上の注意

教科書は使用しないが毎回レジュメ等を配布するので、それをファイルして毎回の授業に持参すること。また、講義の後半にその時々で話題となっている法律・会計・企業活動等に関する事柄を取り上げて授業を進めることがあるので、新聞等はできるだけ目を通しておくこと。

予習・復習

レジュメ等を配布して授業を行うので、毎授業後の復習が必須である。

評価方法

中間段階の試験（30%）、期末試験（70%）で評価する。授業への貢献により加点することがある。

テキスト

テキストは使用しない。毎回レジュメ等を作成して配布し、授業を行う。